

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス でいじー

支援プログラム (参考様式)

作成日 2025 年 3 月 13 日

法人 (事業所) 理念		利用児・保護者の声に常に耳を傾け、サービス向上に努める。						
支援方針		1人1人の特性を保護者さまと一緒に少しずつ理解しながら、社会で生活していくために必要なスキルを身につけていきます。楽しくのびのびと過ごせる環境の中で小さな成功体験を積み重ね、自信をつけながら成長する力を引き出します。						
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠・食事・排泄・手洗い等、身近自立や健康的な生活リズムを身につけるサポート。 ・定期的な心身の健康状態の把握。(定期的な検温や気持ちの確認等) ・構造化を意識した部屋のレイアウト (掲示物や絵カードでの視覚的支援や感覚過敏児におけるスペースの配慮等) ・時間に応じて行動の切り替えが出来るように支援。(ストップウォッチの活用や日々のルーティン化を図る) 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢の保持 (個々に合わせた机や椅子の使用や体幹トレーニング等の実施) ・季節の創作活動を通して目と手の協応を行い、手指の感覚や巧緻性を養う。 ・聴覚過敏児にはイヤーマフやパーテーション等で過ごしやすい環境を提供する。 ・体操やダンス、スポーツ等を通じて、楽しく体幹や柔軟性・ボディイメージを養う。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活や課題を通して、色や形・大きさ等を認識できるように支援する。 ・外出支援や公園に行く活動等では、楽しみながら公共のルールを知ることが出来るように支援を行う。 ・場面転換時にはストップウォッチの使用や終わりの合図、絵カード等を示すことで、よりスムーズに切り替えができるよう支援する。 ・認知の偏りに配慮しながら、小集団での活動や遊びの中で適切な行動を習得する。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを使用したり指さしや身振り手振り等、個々に合わせたコミュニケーションを行えるように取り組む。 ・物の名前や生活の中で必要な言葉の習得、また自分の気持ちを適切に表現できるように支援する。 ・語彙力や文章理解力の向上を目指す。 ・読み・書きに関する学習支援を行う。 ・様々な年代の児童との集団療育や集団遊び等を通して交流していく。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ。 ・活動を通して順番やルールを守る大切さを伝え、社会の中で必要なスキルを身につけられるように支援する。 ・良いことや悪いことがあることに気づき、考えて行動が出来るように支援する。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での困りごとに対する助言やサポートを行う。 ・モニタリング・面談を行い、様子の共有や課題の見直しを行う。 ・送迎時やリズム、LINEを使用し、利用児の様子や取り組みの内容を共有する。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保育園、幼稚園等の関係機関との連携。 ・今後に向けての保護者との面談。 ・具体的な移行先との連携、相談援助。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や保育園・幼稚園・他事業所と情報共有をする。 ・相談支援事業所との連携をする。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の児童に対する担当者会議の実施。 ・定期的な療育会議、職員会議の実施。 ・外部研修。 ・事業所内研修。 ・虐待防止・身体拘束適正委員会の実施。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・毎土日祝・・・ (創作活動) 石鹸作り、バスボム作り、オリジナルチャーム作り、レジンキーホルダー作り等 (クッキング) カレーライス、焼きそば、うどん、ラーメン、生チョコタルト、スイートポテト等 (季節行事) 節分、クリスマスパーティー、ハロウィンパーティー、夏祭り等 						